

「住民の方との対話」を目的に、まちかどインタビューを掲載しています。

押しつけでない、暖かい
子育て支援ができれば



富士見区
五味道子 さん
(ファミリー・サポート支援会員)

○今、感じていることは
ファミリー・サポート・セ
ンター事業が始まって4ヶ月
です。支援会員として登録さ
せていただいています。十
分にお役に立っていませんが、
事業内容もまだ浸透していな
いかな?とも感じています。

一方、声を上げたいけれど、
どうしても声に出せない、と
いう立場の人も大勢いる気が
します。押しつけでない暖か
い支援がどんな立場の人に対
してでもできると、若い親も
子育てに自信が持てるのでは
ないでしょうか。

○ご意見ご要望のみの一
般質問にがっかり!!
もっと町全体の将来に
ついて、建設的な質問が
出来ないか。

○組合の話になると、町
長は常に逃げている。住
民の安全を考えていると
言うが、重金属の規制に
ついて組合に働きかけて
いるか?
そうしていないなら、
富士見町の町長としての
責任を果たしていると言
えない。

12月定例会を傍聴さ
れた方からご感想・ご
意見をいただきました
ので、原文のまま紹介
いたします。

編集後記

今年「温暖化防止」問題
について真剣に論議されるべ
き年になりそうです。洞爺湖
サミットはその大きな論議の
場になるでしょう。

私たちの子どもの頃は各集
落に田んぼを使ったスケート
リンクがあったのに、そして
竹スキーの思い出：：自然に
囲まれたこの富士見を半世紀
を超えて見てきた私たちにと
って、「温暖化」の事実を否
定することはできません。

更に温暖化が進めば、まさ
に地球・人類の存続そのもの
が問われるのではないでしょ
うか。
「我が亡きあとに洪水よ来
たれ」これは聖書にある言葉
だそうです。わたしたちへ
の警鐘のような気がします。

(名取 武一)

■議会広報編集委員会

編集委員長 小林 光
副委員長 名取 武

委員 エンジェル千代子
織田 昭雄

ふじみ議会だよりは、議会ホームページにも掲載されています。